

感謝にかえて

川端 修（奈良県危機管理監）

梅崎 一郎（奈良県警察本部生活安全企画課係長）

松田 勝雄（奈良県教育委員会保健体育課係長）

（中川） それでは、ここで関係者の皆さまからコメントをいただきます。

まずは川端管理監からお願いいたします。

（川端） 川端でございます。大変熱心なご発表ありがとうございました。

それぞれの発表についてコメントを差し上げればいいのですが、幾つかに絞って申し上げます。

防災の関係で、平群町の中学校の教頭先生にお願いに行ったりは何回聞いても感動します。地域の取り組みなどいろいろなことが非常にお互いに理解し合うことにつながっていくのではないかと思いました。

最後に発表のあった新中町防災会の、西さんからお話を聞いたのですが、ここで印象に残りましたのは、まず家族から話し合いを始めましょうとおっしゃったと思います。私自身大変反省しながら聞いていました。このように、やはり自分たちサイドでできることから、防犯の発表でもありましたけれども、みんなでできることから少しずつやっというところが非常に印象に残りました。

われわれ行政の方もどうしたら皆さんを効果的に支援できるか、この機会に学びたいと思っていますので、ぜひこれからもこういう場を通じてご意見を頂戴したいと思います。それぞれ申し上げればいいのですが、時間の関係で省かせていただきます。どうもありがとうございました（拍手）。

（中川） 続きまして、警察本部生活安全企画課の梅崎係長からお願いします。

（梅崎） 奈良県警察本部生活安全企画課の犯罪抑止対策室にいる梅崎と申します。

本日はこの素晴らしい話を皆さんから聞かせていただきました。私は防犯担当なので、まず防犯とは何かというと、やはり鍵をかけることです。それと、皆さんのこの中でも載

っていたように「継続は力なり」で、防犯活動は継続していただいで初めて効果が出ます。昨日やったからといって犯罪が発生しないということはないわけです。皆さんが継続して防犯活動をやっていただくことが防犯につながるということは、今日見させていただいて、それがレジュメの中にも出ていたので、私どもとしてはこれが日本全国に出回って、どのような反響が出るのかということをご期待しております。

それから、防災の関係については、最後の二つの団体の話を聞きまして、若い力というのは、中学校や奈良産業大学の学生さんとも活動されるということをご聞きまして、私どもの方も女性を犯罪から守ろうという形で防犯対策を考えているところなのですが、これにつきましても若い力というのでしょうか、奈良県下の大学の自主防犯団体もつくっていきたいと思います。

今後とも皆さんの話を参考にしまして、私どももこれから防犯活動をやっていきたく思いますので、皆さんのご協力をよろしくご願ひいたします。今日は素晴らしい話を聞かせていただき、ありがとうございました（拍手）。

（中川） 県教育委員会保健体育課の松田係長からお願いします。

（松田） 教育委員会保健体育課の松田と申します。

本日はたくさんの方の発表をどうもありがとうございます。日ごろは子どもの登下校時や学校の中での安全・安心にご協力いただきありがとうございます。

お話の中でいろいろありましたが、学校の中で物分かりがいいのは校長や教頭だけではございません。一般の先生方にもたくさんいい方もおられますし、さらには市町村の教育委員会もごございます。実はお金を持っているのはそちらですので、直接はここに言っていただきましたら、子どもの力、先生の力というのはいくらでも活用していただけます。また、お金にかかわっては、例えば教育委員会に働く、さらには、市町村のその他にまた掛け合っていたらと思います。

学校は窓口が非常に狭いように見えるのですが、実は今回も触れていますが、学校のちよどこかゆいところに手が届くのが今日ご発表いただいたボランティア団体だと私は思っています。ですから、学校というのは、本当は外の力をたくさん求めたいのです。実は私も含めて先生方は疲れています。疲れている先生方に皆さんのパワーを頂けたら、それこそ本当に授業に一般のボランティアの方が入っていただいでいます。先ほどの防災ずきん

にしても、次年度は家庭科の授業の中でされると聞いています。

教師は実はそういうアイデアをたくさん作りたいのです。別に自慢したいわけではなくて、それが子どもたちの、先ほどありました時間に誰も遅れてこない。嫌な授業はみんな遅れるのです。ですから、そういう力をぜひ学校、教育関係にこれからもご支援いただきましたら、この事業がまた次年度も続いてやっていただけて、またわれわれもぜひ協力したいと思います。本日はどうもご苦労さまでした（拍手）。